補装具費支給意見書 • 処方箋(重度障害者用意思伝達装置)

様式 14-1

氏 名			生年月日	M T S H R	年	月	日	歳	
住 所									
障害名						((級)	
原傷病名及び 発症年月日		※障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 筋疾患に該当(□する □しない)	施行令で定める	特殊の疾病(難病	等) で、音戸 (発症年		能障害。 年	および神経・	
発症から現在 までの経過									
TH.	現 症	※意思伝達装置を必要と認める理由が明確となるように記載して についても記載してください。	ください。難病	患者等については、	身体症状等	等の変動状	況や日戸	内変動状況等	
現在の身体状況	自動運動が可能な部位	※該当する項目全てにチェックを入れてください。その他の場合は(□目蓋 □眉 □頬 □顎 □舌 □頚 □右 右 □肩 □肘 □手 □指(第 指)□服 左 □肩 □肘 □手 □指(第 指)□服	その他(殳 □膝 □	記載してください。 足指(第 足指(第	趾) 趾))	
	機器操作の 状況	※可または不可のどちらかにチェックを入れてください。可の場合は ①操作手順の理解 □ 可 □ 不可 ②上肢について aキーボード操作 □ 可(身体部位: bマウス操作 □ 可(身体部位: c意思伝達装置に用いられる特殊なスイッチ操作 ③下肢について aキーボード操作 □ 可(身体部位: bマウス操作 □ 可(身体部位: bマウス操作 □ 可(身体部位: c意思伝達装置に用いられる特殊なスイッチ操作)) 乍 □ 可) 〕] 不可] 不可 (身体部位:] 不可] 不可	てください。			□ 不可	
	音声・言語 機能	※身体障害者手帳に音声・言語機能障害の記載がない場合及び難	病患者等は特に、	症状の経過、現	定等を詳しく	、記載して	ください	,	
	音声による 意思伝達の 状況	※該当する項目にチェックを入れてください。その他の場合は() □ 家族との会話の用をなさない □ 家族との会話が一部可能である □ 家族との会話は可能であるが、家庭周辺におい □ 日常の会話が可能であるが不明瞭で不便がある □ その他(て他人には死		\ \)	
	気管切開の有	無及び、人工呼吸管理の状況							
	その他(視力	7、視野、聴覚、高次脳機能障害等の有無及び、意思	伝達装置使用	一个の影響の有	無につい	て記載し	してく!	ださい)	
進行性の疾病で、急激な症状の進行により早期に意思伝達装置の導入が必要な理由等 ※症状や今後の見込みについて詳しく記入してください。									

	補	装具の種目:重度障害者用意思伝達装置	製品名(メーカー名)				
必要と認める補装具	処 方	本体 「文字等走査入力方式 (文字盤又はンバル等の選択による意思の表示等の機能を有する簡単					
使用見込	効果 み						
特記事項							
		おり意見、処方する。 所在地 年月日医療機関名 診療科名 (自署又は記名押印)医師氏名					
上記処方により医学的に適合したことを証明する。							
?	和	年 月 日 所 在 地					
		医療機関名 (自署又は記名押印) 医 師 氏 名					
Δ	和	年 月 日					
<u>т</u> ,	製品核						